

事務事業の概要・計画（PLAN）

事務事業名	水田農業構造改革対策事業	会計名称	一般会計		担当課	農林水産課		
		予算科目	6 款 1 項 4 目	事業番号	2510	所属長名	向井裕臣	
事業評価の有無	☐ 評価対象事業 ☒ 評価対象外事業（事業の概要・結果のみ）				担当責任者名	池内伸至		
法令根拠等	伊予市水田農業推進事業費補助金交付要綱 えひめ型水田フル活用促進事業費補助金交付要綱				実 施 期 間	【開始】	平成 17 年度	
総合計画での位置付け	産業振興都市の創造					【終了】	平成	年度(予定)
	魅力ある農業の振興							■ 設定なし
総合計画における本事業の役割	魅力ある農業の振興のための水田農業対策							
事業の対象	水田耕作農業者			事業の目的	米の需給調整を効果的に推進し、担い手の確保・育成を集落単位で推進し、水田生産力向上に繋げると共に水田農業経営の安定化を図る。			
事業の内容（整備内容）	水田農業経営の円滑な推進を行うための生産目標数量の着実な達成に向けた推進事務			評価事業としないこととした理由	経常的経費の支出事務であるため			

事業活動の内容・成果（DO）

事業費及び財源内訳（千円）							事業活動の実績（活動指標）						
項 目		前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項 目	単位	28 年度実績	29 年度予定	9月末の実績	29 年度実績
財源内訳	直 接 事 業 費	1,089	271	440	0	0	578	水稲作付け確認面積	ha	622.4			610.1
	国 庫 支 出 金		0	0	0	0	0						
	県 支 出 金	16	0	0	0	0	0						
	地 方 債		0	0	0	0	0						
	そ の 他		0	0	0	0	0						
	一 般 財 源	1,073	271	440	0	0	578						
職員の人工（にんく）数		0.20	0.20				0.20						
1人当たりの人件費単価		8,086	8,017				8,017						
※ 直接事業費＋人件費		2,706	1,874				2,181						
主な実施主体		直接実施		実施形態（補助金・指定管理料・委託料等の記載欄）									
向こう5年間の直接事業費の推移 （千円）						30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	34 年度	5年間の合計		
						280	280	280	280	280	1,400		

事務事業評価（CHECK）

自己判定（担当責任者）	事業の成果	米政策の転換に伴い推進手法の検討を実施しより効果的な周知を検討した。平成30年産米については、従来どおりの説明会開催による周知を図るが、平成31年産米からは農業者へ直接周知へ転換することを農業再生協議会において決定した。				
一次判定	事業の方向性	☒ 事業継続と判断する。 ☐ 事業縮小と判断する ☐ 事業廃止と判断する		判断の理由	本事業は、水田農業振興に係る経常経費の支出事務であり、なお効果的な執行に努めるのみであることから評価事業とはしないが、その効用は認められるため継続と判断する。	

二次判定	☒	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
	☐	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
	☐	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		

行政評価委員会の答申 外部評価	答申の内容

今後の方向性（ACTION）

経営者会議 の最終判断	事業の方向性		コメント欄
	☐	さらに重点化する。	
	☒	現状のまま継続する。	
	☐	右記の点を見直しの上、継続する。	
	☐	事業の縮小を行う。	
	☐	事業の休止、廃止を行う。	